



2025年度合格目標 国家総合職講座 スタートアップ講義



CONTENTS

- 1 国家総合職の特徴・試験制度
- 2 TAC・Wセミナー国家総合職講座コース紹介
- 3 学習スケジュール・学習法

会員の方へ ～ご受講にあたってのご案内～

- 1 本試験の申込について
- 2 TACのご利用方法(受講ガイド)
- 3 会員証
- 4 マイページ登録

WEB SCHOOL
TACの受講生サイト

資格の学校
TAC
セミナー

重要なお知らせ 初めてご利用いただく方は、マイページ登録をお願いいたします。
[ブックマーク]や[お気に入り]はこのページではなく、[受講生サイトトップ](#)に登録をお願いいたします。

TAC WEB SCHOOLにログインする

**マイページ登録のお願い
(TAC WEB SCHOOL初回登録)**

初めてTAC WEB SCHOOLをご利用いただく時に、マイページ登録をお願いいたします。過去の受講で一度マイページ登録を行っている方は必要ありません。

[▶ マイページ登録](#)

[マイページ登録方法はこちら](#)
[マイページ登録にお困りの方](#)

ログイン

ログインID
TAC会員番号(10桁の半角数字)

パスワード
ご自身で設定した半角英数字

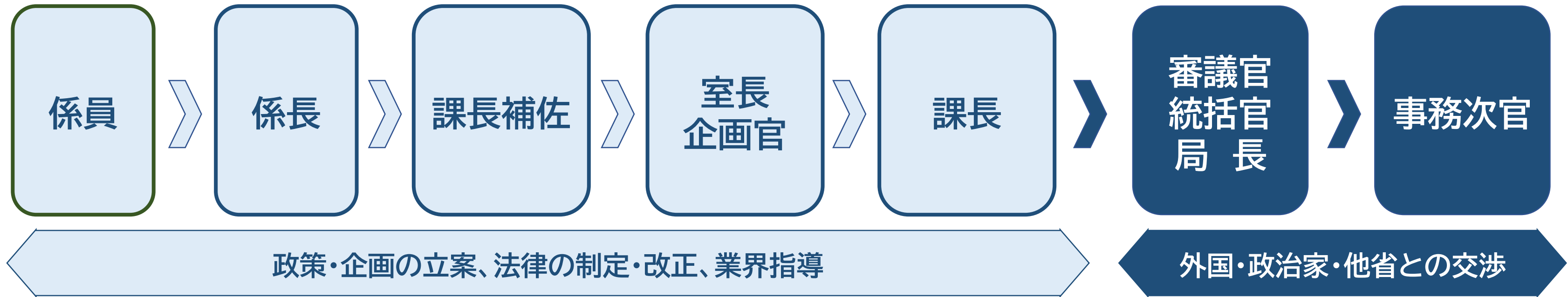
次回からログインIDの入力を省略する

[▶ ログイン](#)

[パスワードを忘れた方はこちら](#)
[ログインにお困りの方](#)
[動作環境のご確認](#)

1. 予備知識

② 国家総合職のキャリアパス



1. 予備知識

③民間企業との併願

①民間企業との併願

- ・近年は過酷な労働環境に対する回避などを背景に，民間企業への就職が顕著。
- ・しかし，コロナ禍の中，民間企業の業績低迷，社会への貢献の高まり等から公務員志望へシフトの動きも。

②主な併願先

- ・コンサル，プラット・フォーム，金融（政策系，民間），商社などが多い
- ※希望する省庁に関係が深い業界を併願するケースが多い

③併願する上での注意点

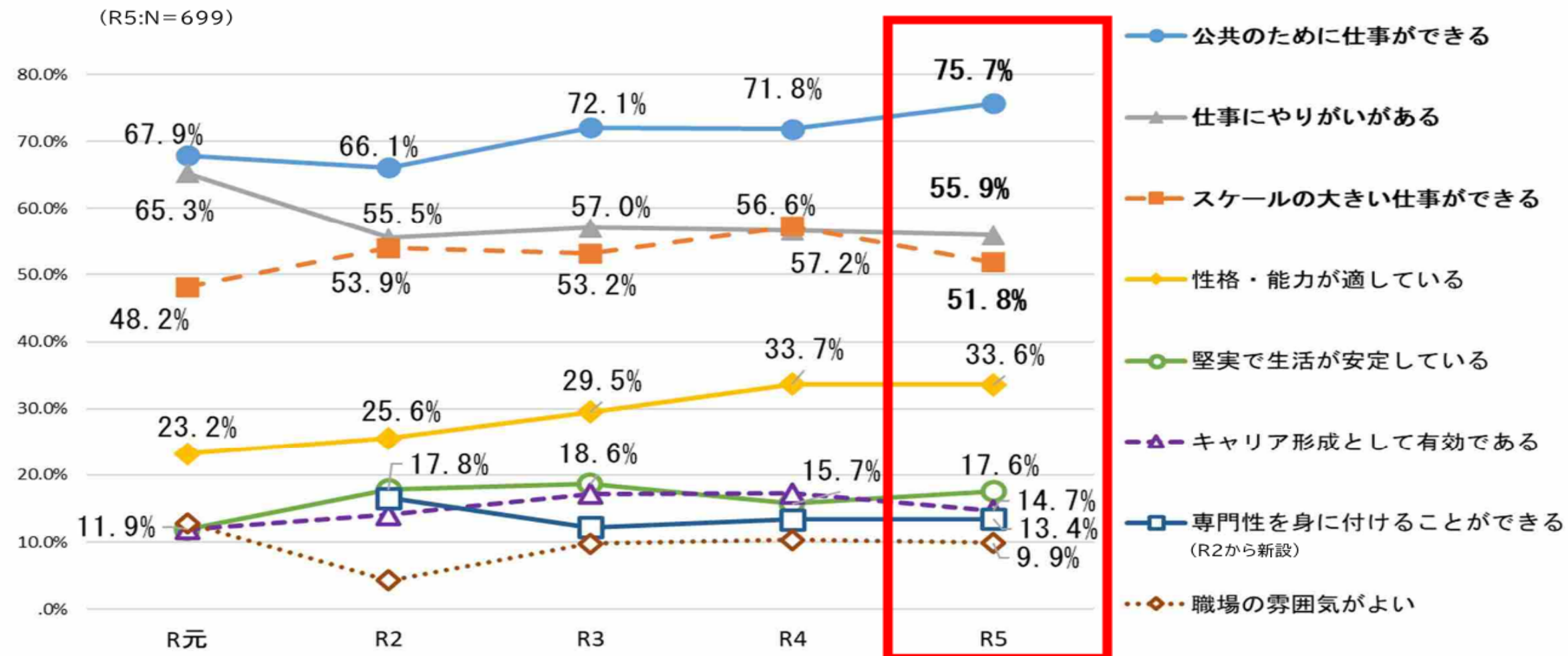
- ・公務員試験では試験種目が多いので，試験勉強と両立可能な併願プランを立てる必要がある。
- ・志望業種を絞り込むことも必要。
- ・訪問先の企業が直面する課題と政策課題との接点を探る中で，公務員としての志望動機を探りたい。

1. 予備知識

④令和5年度 入省職員のアンケート結果 1 ※人事院発表資料から一部抜粋、各問の「N」は有効回答数

国家公務員になろうとした主な理由(3つ選択)

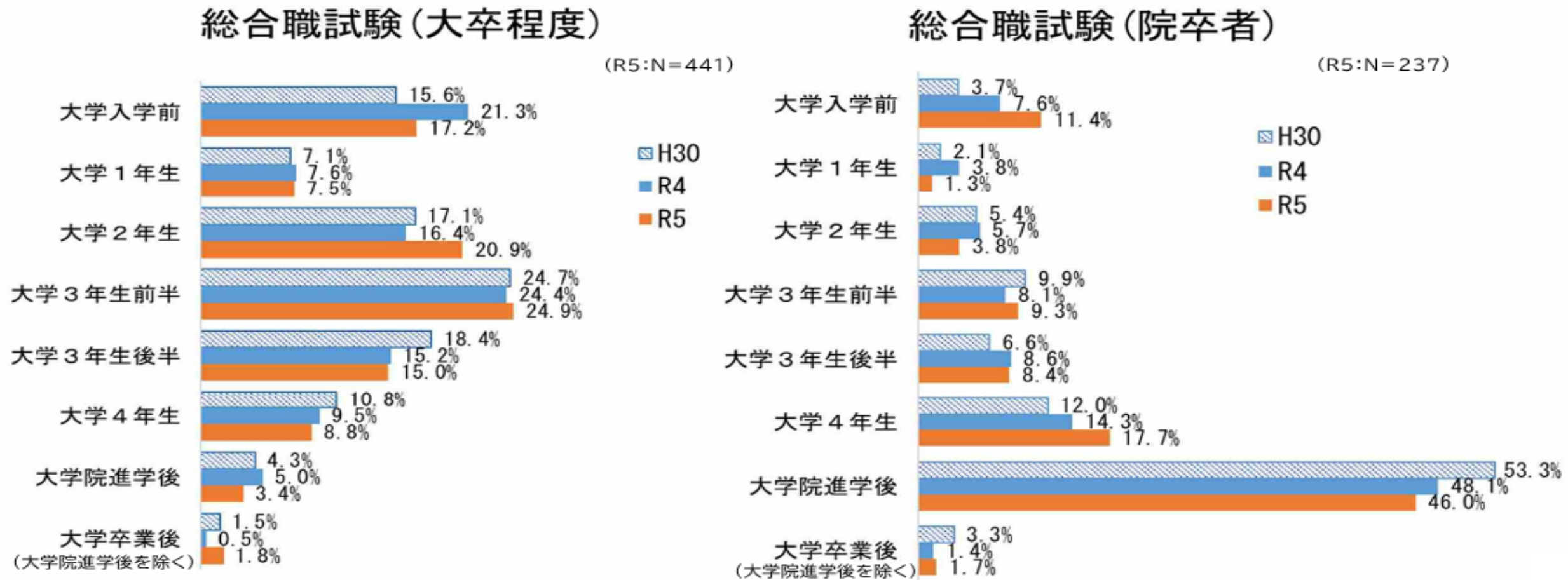
▶「公共のために仕事ができる」「仕事にやりがいがある」「スケールの大きい仕事ができる」が上位3つを占める



④令和5年度 入省職員のアンケート結果 2 ※人事院発表資料から一部抜粋、各問の「N」は有効回答数

就職先として国家公務員を意識した時期

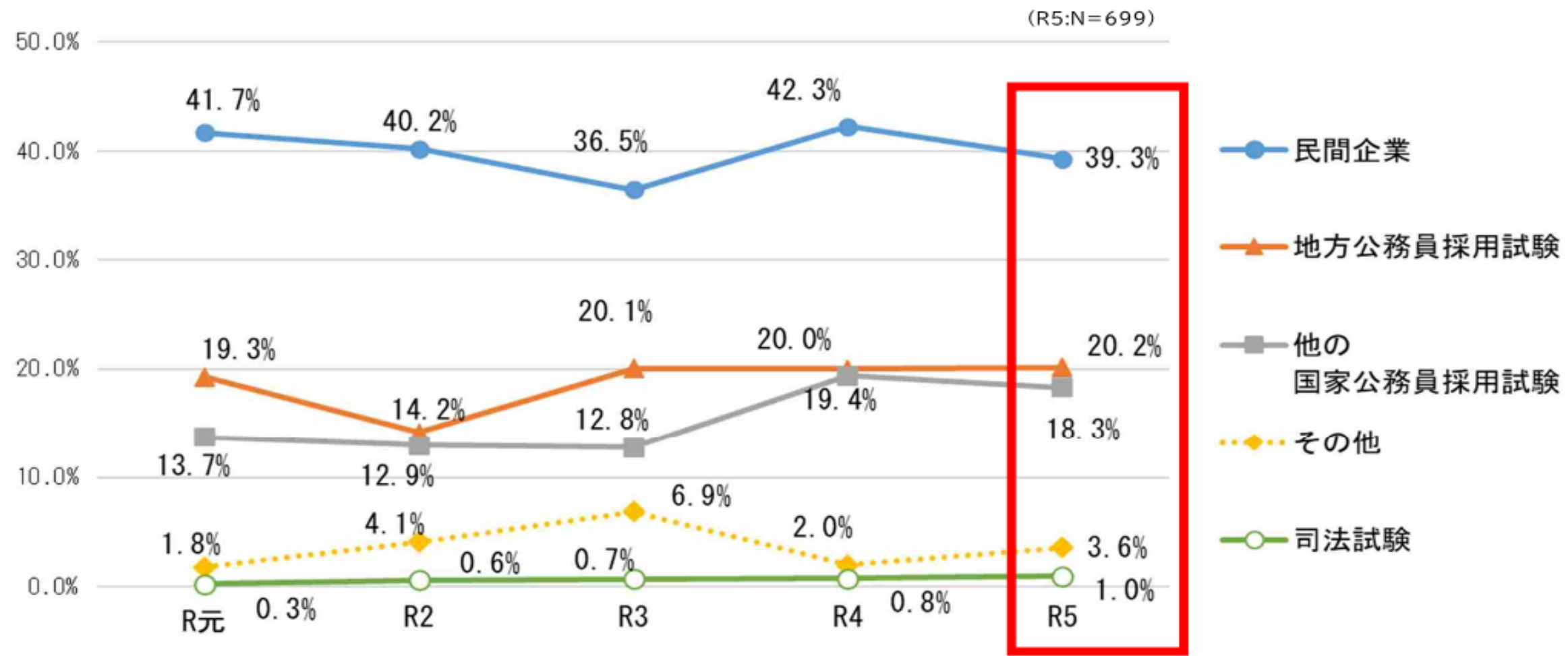
- 総合職試験(大卒程度)では、45.6%の者が大学2年生までに就職先として国家公務員を意識
- 総合職試験(院卒者)では、46.0%の者が大学院進学後に意識



④令和5年度 入省職員のアンケート結果 3 ※人事院発表資料から一部抜粋、各問の「N」は有効回答数

採用された試験以外での合格、内定先(複数回答)

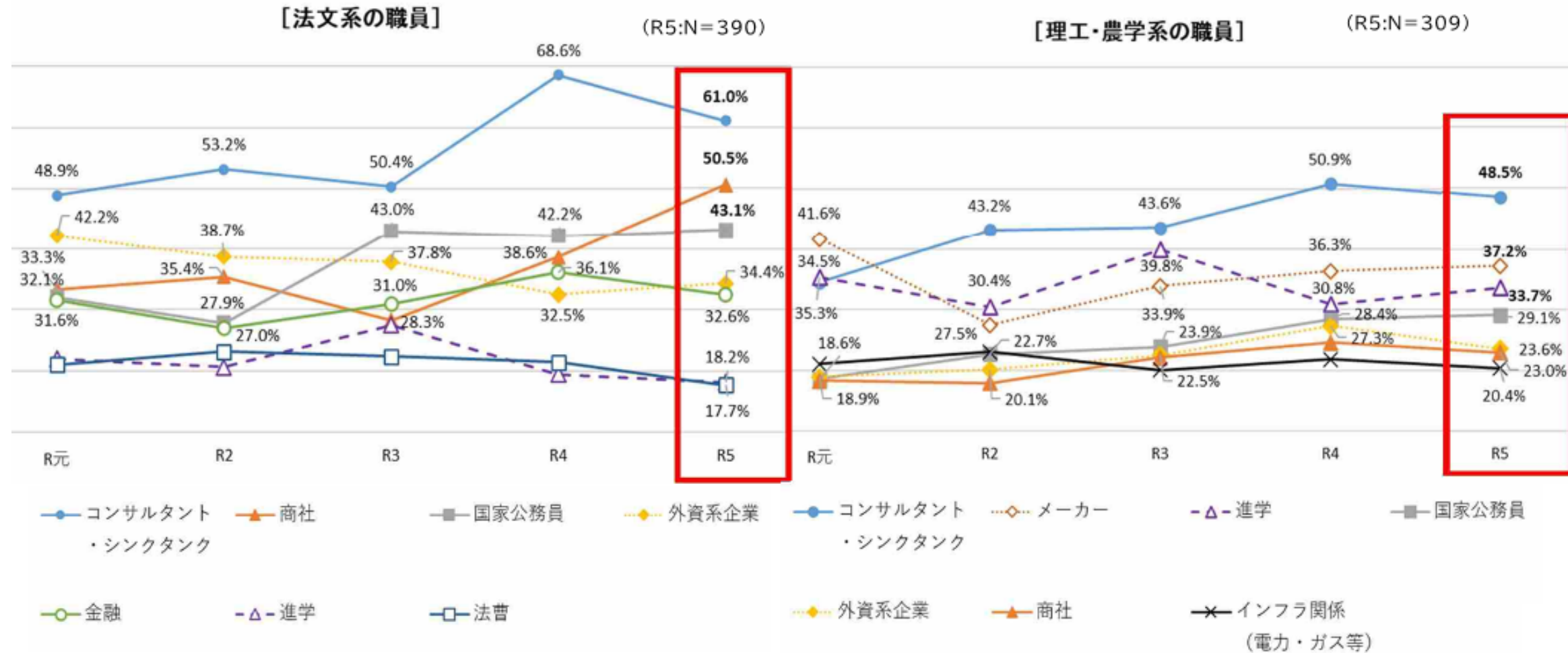
▶「民間企業」が39.3%、「地方公務員採用試験」が20.2%、「他の国家公務員採用試験」が18.3%であり、4割近くの者が官民を通じた就職活動を経て公務員に就職



④令和5年度 入省職員のアンケート結果 4 ※人事院発表資料から一部抜粋、各問の「N」は有効回答数

周りの優秀な学生の就職先(3つ選択)

- 法文系の職員では「コンサルタント・シンクタンク」「商社」「国家公務員」が上位
- 理工系等の職員では「コンサルタント・シンクタンク」「メーカー」「進学」が上位



1. 予備知識

⑤本試験スケジュール

大学2年生					大学3年生								大学4年生									
月	9	10	11	12	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	~	4		
国家総合職		秋試験				秋試験					春試験			夏の官庁訪問						内定式		入省

大学2年生					大学3年生								大学4年生								
月	9	10	11	12	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	~	4
民間就活					インターン								説明会 エントリー		採用試験				内定式		入社

1. 予備知識

⑥ 国家総合職試験 主な区分の倍率

試験名	申込者数	最終合格者数	倍率(申込者ベース)
23年秋試験(教養区分)	4,014名	423名	9.4倍
23年春試験(法律区分)	7,834名	312名	25.1倍
23年春試験(経済区分)	1,071名	142名	7.5倍
23年春試験(政治・国際区分)	1,308名	211名	6.1倍
23年春試験(院卒区分(行政))	314名	164名	1.9倍

1. 予備知識

2024年以降、試験スケジュール/試験内容が変わります！！

⑦大卒程度試験（法律／経済／政治・国際・人文）

※合格有効期間(名簿有効期限)が5年間に延伸されました。

- ・ 申込受付期間：2024年2月5日（月）9時～2月26日（月）
- ・ 1次試験日：2024年3月17日（日） ・ 1次合格者発表日：2024年4月1日（月）9時
- ・ 2次試験日(筆記試験)：2024年4月14日（日）
- ・ 2次試験日(人物試験)：2024年4月22日（月）～5月15日（水）
- ・ 最終合格者発表日：2024年5月28日（火）16時

1次試験

2次試験

基礎能力試験(択一式) [配点比率 2/15]

※○は出題予定数

2時間20分/30題解答

<必須解答>

知能分野(文章理解⑩、数的処理⑭)④

知識分野(自然・人文・社会に関する時事、情報)⑥

※知識分野は、単に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容

専門試験(択一式)[配点比率 3/15]

選べる専門科目

3時間30分/40題解答

法律区分	経済区分	政治・国際・人文区分	
<必須解答>	<必須解答>	<必須解答> コースA(政治・国際系)	<必須解答> コースB(人文系)
憲法⑦、行政法⑫、民法⑫	経済理論⑩・財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤	政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤	政治学・国際関係・憲法⑤、思想・哲学④、歴史学④、文学・芸術③、人文地理学・文化人類学②、心理学①、教育学③、社会学③
<選択解答>9題解答	<選択解答>9題解答	<選択解答>15題解答	<選択解答>15題解答
商法③、刑法③、労働法③ 国際法③、経済学・財政学⑥	経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、*民法③	行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、*民法③、経済学③、財政学③、経済政策③	思想・哲学⑥、歴史学⑥、文学・芸術⑥、人文地理学・文化人類学②、心理学③、教育学③、社会学④

※経済区分と政治・国際・人文区分の民法は担保物件、親族及び相続を除きます。

専門試験(記述式) [配点比率 5/15]

選べる専門科目

3時間/2題解答

法律区分	経済区分	政治・国際・人文区分
<以下から2題> 憲法、民法、行政法、国際法、公共政策A、公共政策B ※公共政策は1題のみ選択可能	<必須解答1題> 経済理論 <以下から1題> 財政学、経済政策、公共政策A、公共政策B ※公共政策は1題のみ選択可能	コースA<以下から2題> 政治学、行政学、憲法、国際関係A、国際関係B、国際法、公共政策A、公共政策B ※公共政策・国際関係は2題選択可能 コースB<以下6題から2題> 思想・哲学②、歴史学②、文学・芸術②

政策論文試験[配点比率 2/15]

2時間/1題

政策の企画立案に必要な能力、その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験

人物試験(人事院面接)[配点比率 3/15]

15～20分程度

面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

※最終合格

新設

1. 予備知識

2024年以降、試験スケジュール/試験内容が変わります！！

⑧院卒者試験（行政）

※合格有効期間(名簿有効期限)が5年間に延伸されました。

- ・ 申込受付期間：2024年2月5日（月）9時～2月26日（月）
- ・ 1次試験日：2024年3月17日（日） ・ 1次合格者発表日：2024年4月1日（月）9時
- ・ 2次試験日(筆記試験)：2024年4月14日（日）
- ・ 2次試験日(政策課題討議・人物試験)：2024年4月30日（火）～5月15日（水）
- ・ 最終合格者発表日：2024年5月28日（火）16時

1 次 試 験

2 次 試 験

基礎能力試験(択一式) [配点比率 2/15] ※○は出題予定数
2時間20分/30題解答

<必須解答>
 知能分野(文章理解⑩、数的処理⑭)⑭
 知識分野(自然・人文・社会に関する時事、情報)⑥
 ※知識分野は、単に知識を問うような出題を避けて時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容

専門試験(択一式)[配点比率 3/15] **選べる専門科目**
3時間30分/40題解答

選択Ⅲ 法律系	選択Ⅳ 経済系	選択Ⅰ 政治・国際系	選択Ⅱ 人文系 新設
<必須問題>	<必須問題>	<必須問題>	<必須問題>
憲法⑦、民法⑫、行政法⑫	経済理論⑩・財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤	政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤	政治学・国際関係・憲法⑤、思想・哲学④、歴史学④、文学・芸術③、人文地理学・文化人類学②、心理学①、教育学③、社会学③
<選択解答>	<選択解答>	<選択解答>	<選択解答>
商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥ ※上記から任意の9題解答	経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、*民法③ ※上記から任意の9題解答	行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、*民法③、経済学③、財政学③、経済政策③ ※上記から任意の15題解答	思想・哲学⑥、歴史学⑥、文学・芸術⑥、人文地理学・文化人類学②、心理学③、教育学③、社会学④ ※上記から任意の15題解答

※経済区分と政治・国際・人文区分の民法は担保物件、親族及び相続を除きます。

専門試験(記述式) [配点比率 5/15] **選べる専門科目**
3時間/2題解答

以下の17科目(22題)から2題選択
 政治学、行政学、国際関係②、公共政策②、憲法、行政法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、国際法、経済理論、財政学、経済政策、思想・哲学②、歴史学②、文学・芸術②

政策課題討議試験[配点比率 2/15]

おおむね1時間30分/1題

6人1組のグループ	レジュメ作成 20分	個別発表 1人あたり3分	グループ討議 30分
-----------	---------------	-----------------	---------------

人物試験(人事院面接)[配点比率 3/15]

15～20分程度
 面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

※最終合格

1. 予備知識

⑨大卒程度試験（教養区分）

2023年から大学2年生でも受験できるようになります！！

2023年の試験から現行の受験可能年齢が1歳引き下げられて19歳以上となります。
これにより、大学2年生でも受験できるようになり、大学在学中に国家総合職試験を受験できるチャンスが増えました。

※1次試験受験地も札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市、那覇市と増加します。

1 次 試 験

基礎能力試験(択一式) [配点 I部:3/28、II部:2/28] ※○は出題数

I部 2時間/24問

<必須解答>

知能分野(数的処理⑭、文章理解⑩)

II部 1時間30分/30題解答

<必須解答>

知識分野(自然・人文・社会(時事を含む)、情報⑳)

総合論文試験[配点 8/28]

4時間/2題

幅広い教養や専門的な知識を土台とした総合的な判断力、思考力についての筆記試験

I 政策の企画立案の基礎となる教養・哲学的な考え方に関するもの

II 具体的な政策課題に関するもの

★教養区分の1次試験の合格者は、基礎能力試験の結果によって決定される。総合論文試験の結果は、最終合格の決定に反映される。

2 次 試 験

企画提案試験 [配点5/28]

I部(政策概要説明紙(プレゼンテーションシート)作成)	II部(プレゼン+質疑応答)
1時間30分/1題	概ね1時間程度
事前に課題と資料が与えられ、解決策を提案する。	政策概要説明紙(プレゼンテーションシート)の内容について試験官に説明。その後質疑応答。

政策課題討議試験 [配点4/28]

概ね1時間30分程度

6人1組のグループ	レジュメ作成 20分	個別発表 1人当たり3分	グループ討議 45分
-----------	---------------	-----------------	---------------

人事院面接 [配点6/28]

15~20分程度

面接官3名VS受験生1名の形式で実施。人柄や対人能力の評価

※最終合格

※合格有効期間(名簿有効期限)が6年6カ月間に延伸されました。

2. TAC・Wセミナーのコース紹介

目指す区分	対応する本科生
A: 法律区分 + 教養区分	法律本科生／法律2年本科生／法律3年本科生／ 主要科目本科生／法律答練本科生
B: 経済区分 + 教養区分	経済本科生／経済2年本科生／主要科目本科生／ 経済答練本科生
C: 政治・国際・人文区分 + 教養区分	政治・国際・人文本科生／政治・国際・人文2年本科生／ 政治・国際・人文答練本科生
D: 上記以外の区分 + 教養区分	春試験専門カット本科生
E: 教養区分のみ	秋試験教養区分本科生
F: 技術職	国総技術職本科生

カリキュラム例①（2025年合格目標）

日程等の詳細はコチラ！ →



法律本科生

(24年秋実施)(25年春実施)
教養区+法律区



標準
学習期間
8~14ヵ月

対象
2024年に
大学3年生
以上になる方

国家総合職の法律区分・
教養区分に対応する
オールインワンコース

法律区分の受験に必要な対策が全て含まれたスタンダードコースです。講義と答練をバランスよく組み合わせたカリキュラムで、初学者でもムリなくムダなく、筆記試験から人物試験まで、万全の対策を実現します。

PLUS+
秋試験対策を強化!
教養区分強化パック P27
併願対策をPLUS!
併願Type P33

		法律本科生 全214回 公開模試4回付	
1次試験(択一)対策	STARTアップ講義	1回	●スタートアップ講義 1回
	教養区対策講義	40回	●数的処理 13回 ●人文科学* 8回 ●時事* 5回 ●文章理解* 2回 ●社会科学* 4回 ●情報* 3回 ●自然科学* 5回
	教養区対策演習	5回	●数的処理 2回 ●数的処理過去問演習 2回 ●基礎能力演習 1回
	専門区対策講義	92回	●憲法 12回 ●商法* 6回 ●国際法* 12回 ●行政法 15回 ●刑法* 7回 ●経済理論基礎* 14回 ●民法 18回 ●労働法* 5回 ●財政学(制度)* 3回
2次試験(論述)対策	専門区対策演習	13回	●憲法 2回 ●商法* 1回 ●国際法* 1回 ●行政法 3回 ●刑法* 1回 ●経済学・財政学* 1回 ●民法 3回 ●労働法* 1回
	政策論文対策	3回	●政策論文対策講義 3回
	政策論文対策	4回	●政策論文対策答練 4回
	専門記述対策講義	20回	●憲法 4回 ●民法 4回 ●公共政策* 3回 ●行政法 4回 ●国際法* 5回
直前対策	専門記述対策答練	23回	●憲法 6回 ●民法 6回 ●公共政策* 2回 ●行政法 6回 ●国際法* 3回
	総まとめ講義	7回	●憲法 2回 ●民法 2回 ●行政法 2回 ●国際法 1回
	公開模試 無料	4回	●基礎能力模試(8月実施予定) ... 1回 ●択一模試(12・1月実施予定) ... 2回 ●論文模試(2月実施予定) 1回
	面接・官庁訪問対策	2回	●人事院面接対策講義 1回+面接カード添削 ●官庁訪問対策講義 1回
人物対策	面接・官庁訪問対策	4回+α	●模擬面接* 1回+α ●模擬集団討論(官庁訪問用)* 1回+α ●模擬企画提案(教養区分)* 1回 ●模擬政策課題討議(教養区分・院卒)* 1回

*教室+Web講座生はビデオブースまたはWeb講義でのご受講となります。 *新宿校・早稲田校・オンラインで実施予定。

経済本科生

(24年秋実施)(25年春実施)
教養区+経済区



標準
学習期間
8~14ヵ月

対象
2024年に
大学3年生
以上になる方

国家総合職の
経済区分・教養区分に対応する
オールインワンコース

経済区分の受験に必要な対策が全て含まれたスタンダードコースです。講義と答練をバランスよく組み合わせたカリキュラムで、初学者でもムリなくムダなく、筆記試験から人物試験まで、万全の対策を実現します。

PLUS+
秋試験対策を強化!
教養区分強化パック P27
併願対策をPLUS!
併願Type P33

		経済本科生 全185回 公開模試4回付	
1次試験(択一)対策	STARTアップ講義	1回	●スタートアップ講義 1回
	教養区対策講義	40回	●数的処理 13回 ●人文科学* 8回 ●時事* 5回 ●文章理解* 2回 ●社会科学* 4回 ●情報* 3回 ●自然科学* 5回
	教養区対策演習	5回	●数的処理 2回 ●数的処理過去問演習 2回 ●基礎能力演習 1回
	専門区対策講義	88回	●経済理論基礎* 14回 ●統計学・計量経済学* 12回 ●経営学* 6回 ●経済理論応用* 13回 ●経済史・経済事情* 4回 ●憲法 12回 ●財政学(制度)* 3回 ●国際経済学* 5回 ●民法(経済区分用)* 12回 ●財政学(理論)・経済政策* 7回
2次試験(論述)対策	専門区対策演習	8回	●経済理論基礎* 2回 ●統計学・計量経済学* 1回 ●経済理論応用* 2回 ●憲法 2回 ●財政学・経済政策* 1回
	政策論文対策	3回	●政策論文対策講義 3回
	政策論文対策	4回	●政策論文対策答練 4回
	専門記述対策講義	15回	●経済理論 4回 ●経済政策 4回 ●財政学 4回 ●公共政策* 3回
直前対策	専門記述対策答練	14回	●経済理論 4回 ●経済政策 4回 ●財政学 4回 ●公共政策* 2回
	総まとめ講義	1回	●経済理論・財政学・経済政策 1回
	公開模試 無料	4回	●基礎能力模試(8月実施予定) ... 1回 ●択一模試(12・1月実施予定) ... 2回 ●論文模試(2月実施予定) 1回
	面接・官庁訪問対策	2回	●人事院面接対策講義 1回+面接カード添削 ●官庁訪問対策講義 1回
人物対策	面接・官庁訪問対策	4回+α	●模擬面接* 1回+α ●模擬集団討論(官庁訪問用)* 1回+α ●模擬企画提案(教養区分)* 1回 ●模擬政策課題討議(教養区分・院卒)* 1回

*教室+Web講座生はビデオブースまたはWeb講義でのご受講となります。 *新宿校・早稲田校・オンラインで実施予定。

カリキュラム例②（2025年合格目標・2024年合格目標【教養区分】）

日程等の詳細
はコチラ！→



政治・国際・人文本科生 (24年秋実習) (25年春実習) 教養区分+政治・国際・人文区分 (コースA)

国家総合職の政治・国際・人文区分・教養区分に対応する
オールインワンコース

政治・国際・人文区分の受験に必要な対策が全て含まれたスタンダードコースです。講義と答練をバランスよく組み合わせたカリキュラムで、初学者でもムリなくムダなく、筆記試験から人物試験まで、万全の対策を実現します。

PLUS!
+
秋試験対策を強化!
教養区分強化パック P27
併願対策をPLUS!
併願 Type P33

		政治・国際・人文本科生 全221回 公開模試4回付	
1次試験(択)対策	STARTアップ講義	1回	●スタートアップ講義 1回
	教養択一対策講義	40回	●数的処理 13回 ●人文科学* 8回 ●時事* 5回 ●文章理解* 2回 ●社会科学* 4回 ●情報* 3回 ●自然科学* 5回
2次試験(論述)対策	教養択一対策演習	5回	●数的処理 2回 ●数的処理過去問演習 2回 ●基礎能力演習 1回
	専門択一対策講義	107回	●政治学 13回 ●国際事情* 1回 ●経済理論基礎* 14回 ●国際関係* 9回 ●国際法* 12回 ●財政学(制度)* 3回 ●憲法 12回 ●行政法 15回 ●財政学(理論)・経済政策* 7回 ●行政学* 9回 ●民法(政治・国際区分用)* 12回
直前対策	専門択一対策演習	12回	●政治学 1回 ●行政学* 1回 ●経済理論基礎* 2回 ●国際関係* 1回 ●国際法* 1回 ●財政学・経済政策* 1回 ●憲法 2回 ●行政法 3回
	政策論文講義	3回	●政策論文対策講義 3回
人物対策	政策論文対策	4回	●政策論文対策答練 4回
	専門記述対策講義	15回	●政治学 1回 ●行政学* 1回 ●国際法* 5回 ●国際関係 1回 ●憲法 4回 ●公共政策* 3回
1次試験(択)対策	専門記述対策答練	23回	●政治学 3回 ●行政学* 3回 ●国際法* 3回 ●国際関係 6回(A:3回 B:3回) ●憲法 6回 ●公共政策* 2回
	総まとめ講義	5回	●憲法 2回 ●民法 1回 ●行政法 1回 ●国際法 1回
2次試験(論述)対策	公開模試 無料	4回	●基礎能力模試(8月実施予定) 1回 ●択一模試(12・1月実施予定) 2回 ●論文模試(2月実施予定) 1回
	面接・官庁訪問対策	2回	●人事院面接対策講義 1回+面接カード添削 ●官庁訪問対策講義 1回
直前対策	面接・官庁訪問対策	4回+a	●模擬面接* 1回+a ●模擬集団討論(官庁訪問用)* 1回+a ●模擬企画提案(教養区分)* 1回 ●模擬政策課題討議(教養区分・院卒)* 1回

★教室+Web講座生はビデオブースまたはWeb講義での受講となります。 *新宿校・早稲田校・オンラインで実施予定。

秋試験教養区分本科生 (24年秋実習) (25年春実習) 教養区分

国家総合職の教養区分に対応する
オールインワンコース

教養区分の受験に必要な対策が全て含まれたオールインワンコースです。講義と答練をバランスよく組み合わせたカリキュラムで、ムリなくムダなく、筆記試験から人物試験まで、万全の対策を実現します。

Point
2023年以降より
受験しやすく変更されました!
2023年より19歳から
受験ができます! P10

		秋試験教養区分本科生 全65回 公開模試1回付	
1次試験(択)対策	STARTアップ講義	1回	●スタートアップ講義 1回
	教養択一対策講義	40回	●数的処理 13回 ●文章理解* 2回 ●自然科学* 5回 ●人文科学* 8回 ●社会科学* 4回 ●時事* 5回 ●情報* 3回
2次試験(論述)対策	教養択一対策演習	4回	●数的処理 2回 ●数的処理過去問演習 2回
	公開模試 無料	1回	●基礎能力模試(8月実施予定) 1回
直前対策	総合論文I対策	3回	●政策論文対策講義 3回
	総合論文I対策	2回	●政策論文対策答練 2回
人物対策	総合論文II対策	3回	●総合論文II対策講義* 2回 ●総合論文IIワークショップ* 1回
	政策課題討議対策	4回	●政策課題討議対策講義* 1回 ●プレ模擬政策課題討議* 2回 ●模擬政策課題討議* 1回
1次試験(択)対策	企画提案対策	4回	●企画提案対策講義* 1回 ●プレ模擬企画提案* 1回 ●模擬企画提案* 1回 ●合格者ゼミ* 1回
	面接・官庁訪問対策	4回+a	●人事院面接対策講義* 1回+面接カード添削 ●官庁訪問対策講義* 1回 ●模擬面接* 1回+a ●カウンセリング* 1回+a

★教室+Web講座生はビデオブースまたはWeb講義での受講となります。時事は2024年目標の国家総合職講座の講義となります。 *新宿校教室またはオンラインでのみ実施します。 合格者ゼミ・カウンセリングはオンラインでのみ実施です。

カリキュラム例③ (2026年度合格目標2年本科生／2027年度合格目標3年本科生)

日程等の詳細はコチラ！ →



2年本科生 (24・25年秋実施) 教養区 + (26年春実施) 法律区 or 経済区 or 政治・国際・人文区

※科目別Web講座標準収録

標準学習期間 8～24ヵ月

対象 2024年に大学2年生以上になる方

「大学2年生」や「長期計画で合格を目指す受験生」向けの **ロングコース**

約2年の時間をかけて着実に合格を目指すコースです。1年目に主要科目を先取り学習し、2年目は応用や演習中心で得点力アップを図ります。1年目の秋に実施される教養区分対策にしっかり時間をかけることができるので、合格の可能性がさらに大きく広がります。

PLUS!

秋試験対策を強化!
1・2年目に標準装備

教養区分強化パック P27

併願対策をPLUS!

併願Type P33

		2年法律本科生 全376回 公開模試付	2年経済本科生 全336回 公開模試付	2年政治・国際・人文本科生 全378回 公開模試付
1年目	スタートアップ講義	1回 ※スタートアップ講義 1回		
	教養区一対策講義	73回	73回	73回
	教養区一対策演習	2回	2回	2回
	専門区一対策講義	57回	49回	55回
	専門区一対策演習	9回	6回	6回
	政策論文&総合論文I対策	7回	3回	4回
	公開模試	1回	1回	1回
	総合論文II対策	3回	2回	1回
	政策課題討議対策	4回	1回	1回
	企画提案対策	4回	1回	1回
面接・官庁訪問対策	2回	1回	1回	

2年目

2年目のカリキュラム・講義回数は試験制度の変更など、試験の事情により変更となる場合がございます。

2年目のカリキュラム詳細は、法律本科生 (P24) をご確認ください。

2年目のカリキュラム詳細は、経済本科生 (P25) をご確認ください。

2年目のカリキュラム詳細は、政治・国際・人文本科生 (P26) をご確認ください。

★教室+Web講座生はビデオブースまたはWeb講座でのご受講となります。 ※新宿校教室またはオンラインでのみ実施します。

(注) 1年目の「教養区一講義 自然科学・人文科学・社会科学、時事・傾向分析講義」は、2024年合格目標「地方上級・国家一般職講座」の講義をビデオブースまたはWeb講座でご受講いただけます。

※1年目は2025年合格目標の講義・演習を、2年目は2026年合格目標の講義・演習をご受講いただけます。

※1年目の各種フォロー制度の利用期間は、2025年合格目標のコース期間に準じます。

※2年目のカリキュラムは2025年2月頃より順次開講予定です。講義日程等の詳細は2026年1月頃ご案内予定です。また、2年目の各種フォロー制度の利用期間は、2026年合格目標コースの期間に準じます。

3年本科生 (25・26年秋実施) 教養区+法律区 (27年春実施)

※科目別Web講座標準収録

標準学習期間 8～24ヵ月

対象 2024年に大学2年生以上になる方

「大学1年生」からの学習開始で、大学の勉強やサークルバイトなど学生生活とも両立しやすい

大学1年生から学習を始めて、学生生活と両立させながら合格を目指すコースです。合格レベルの知識取得に時間のかかる法律区分と大学2年次に受験できる教養区分について先取り学習していきます。

		3年法律本科生 公開模試付		
1年目	スタートアップ講義	1回	1回	
	教養区一対策講義	66回	66回	
	教養区一対策演習	8回	8回	
	スタートアップ講義	1回	1回	
	教養区一対策講義	40回	40回	
	教養区一対策演習	2回	2回	
	専門区一対策講義	57回	57回	
	専門区一対策演習	9回	9回	
	政策論文&総合論文I対策	7回	7回	
	公開模試	1回	1回	
2年目	総合論文II対策	3回	3回	
	政策課題討議対策	4回	4回	
	企画提案対策	4回	4回	
	面接・官庁訪問対策	2回	2回	
	3年目	3年目のカリキュラム詳細は、2026年1月刊行予定の「国家総合職講座パンフレット」2027年合格目標法律本科生ページをご確認ください。		

★教室+Web講座生はビデオブースまたはWeb講座でのご受講となります。合格者ゼミはオンラインでのみ実施です。

※新宿校教室またはオンラインでのみ実施します。

(注) 1年目の「教養区一講義 文章理解 自然科学・人文科学・社会科学・傾向分析講義」は、2025年合格目標「地方上級・国家一般職講座」の講義をビデオブースまたはWeb講座でご受講いただけます。

※1年目は2025年合格目標の講義・演習を、2年目は2026年合格目標の講義・演習をご受講いただけます。

※1年目の各種フォロー制度の利用期間は、2025年合格目標のコース期間に準じます。

※2年目のカリキュラムは2025年2月頃より順次開講予定です。講義日程等の詳細は2026年1月頃ご案内予定です。また、2年目の各種フォロー制度の利用期間は、2026年合格目標コースの期間に準じます。

※3年目のカリキュラムは2026年2月頃より順次開講予定です。講義日程等の詳細は2026年1月頃ご案内予定です。また、3年目の各種フォロー制度の利用期間は、2027年合格目標コースの期間に準じます。

※2・3年目のカリキュラムや講義回数は、試験制度の変更等試験の事情により変更となる場合がございます。

選べる受講メディア

教室+Web講座・ビデオブース+Web講座・Web通信講座と自分の学習スタイルに合わせた受講が可能です。

状況に合わせた
ハイブリット型学習で
効率UP! 安心度UP!

通って学ぶ 通学メディア



教室+Web講座

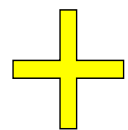
- ✓ 疑問点は講師に即質問! 即解決!
- ✓ モチベーションの維持がしやすい!
- ✓ ビデオブースは何回でも無料視聴可能!



ビデオブース+Web講座

- ✓ ビデオブース予約システムでカンタン予約!
- ✓ 教室講座と変わらない安心のフォロー制度

通学メディア
で受講



Web講座

自宅や外出先で学ぶ 通信メディア



Web通信講座

- ✓ インターネット環境さえあれば、あらゆる端末に対応!
- ✓ 何度でも受講できるので、復習にも◎



TAC・Wセミナーのウリを3つ！

- ① 確かな実績を出しています
- ② 情報の蓄積がたくさんあります
- ③ 講師が内々定まで丁寧に指導します

① 合格実績





2023年度

内定先 19省庁! 多数の省庁に内定!!



外務省	15名
経済産業省	4名
文部科学省	5名
法務省	3名
国税庁	1名

財務省	2名
防衛省	4名
農林水産省	6名
内閣府	4名
会計検査院	2名

警察庁	2名
厚生労働省	6名
金融庁	3名
出入国在留管理庁	1名
デジタル庁	2名

総務省	8名
国土交通省	4名
環境省	3名
公安調査庁	1名

私たちが内々定まで丁寧に指導します

個々の学力や状況に合わせた個別指導

担任講師制度

国家総合職担任

公共政策・
2次対策 担当

みぞえ まさる
溝江 勝 講師



国家総合職担任

政策論文等 担当

やまぐち いっき
山口 輝 講師



受講生をサポートする身近な存在 [HPでチェック▶](#)



内定者アドバイザー



■ 担任ホームルーム (Web配信)

■ 個別学習カウンセリング (校舎&オンライン)

■ 面接アドバイス&カード添削

など

■ 内定者ホームルーム

■ 内定者アドバイザー
オンラインカウンセリング

など

学習スケジュール・学習法 編

1. 春試験対策

①2023年本試験1次試験合格に必要な点数 (オレンジは基礎能力試験の得点率45%の場合の合格ライン)

法律区分		満点	合格ライン組み合わせ													
			12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	基礎能力試験	40	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	専門択一試験	40	34	33	32	31	31	30	29	29	28	27	26	26	25	24

経済区分		満点	合格ライン組み合わせ													
			12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	基礎能力試験	40	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	専門択一試験	40	30	29	28	28	27	26	25	24	23	23	22	21	20	19

政治国際区分		満点	合格ライン組み合わせ													
			12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	基礎能力試験	40	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	専門択一試験	40	26	25	24	24	23	22	21	20	19	19	18	17	16	15

院卒者/行政区分		満点	合格ライン組み合わせ											
			9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	基礎能力試験	30	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	専門択一試験	40	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

1. 春試験対策

②春試験(大卒区分)の合格目標ライン ※2024年以降の目安

春試験(大卒)合格ライン

試験名	1次試験		2次試験		
	基礎能力試験	専門択一試験	専門記述試験	政策論文	人物試験
全体の配点	2/15	3/15	5/15	2/15	3/15
合格ライン	正答率 55~60%	正答率 60~70%	正答率 50~60%	正答率 60%	C
備考	30点満点中 16~18点	40点満点中 24~28点	40点満点中 20~24点	10点満点中 6点以上	A~Eの 5段階評価

1. 春試験対策

③英語試験による加点制度

英語試験のスコアを有する受験者には、最終合格者決定の際にスコアに応じて、国家総合職試験の総得点に15点または25点が加算されます。スコアが加算されるのは、以下の4種類の英語試験です。

	TOEFL iBT®	TOEIC® L&R TEST	IELTS	実用英語 技能検定
15点加算	65以上	600以上	5.5以上	—
25点加算	80以上	730以上	6.5以上	準1級以上

⇒人物試験(面接)でランク1つ上をとれば、逆転(36点)

1.春試験対策

④基礎能力試験(2023年)

番号	科目	出題内容	番号	科目	出題内容
1	文章理解	現代文(内容合致)	21	数的推理	速さ
2	文章理解	現代文(内容合致)	22	判断推理	場合の数
3	文章理解	現代文(文章整序)	23	数的推理	整数の性質
4	文章理解	現代文(空欄補充)	24	数的推理	図形(三平方の定理)
5	文章理解	英文(内容合致)	25	数的推理	関数
6	文章理解	英文(内容合致)	26	資料解釈	実数表
7	文章理解	英文(内容合致)	27	資料解釈	グラフ(相関図)
8	文章理解	英文(内容合致)	28	時事	我が国の2022年の法改正
9	文章理解	英文(内容合致)	29	時事	近年の国際情勢
10	文章理解	英文(文章整序)	30	時事	自然災害や防災
11	文章理解	英文(空欄補充)	31	物理	エネルギー
12	判断推理	命題	32	化学	酸化と還元
13	判断推理	集合(要素の個数)	33	生物	生態系
14	判断推理	数量的順序関係	34	日本史	明治時代の我が国の政治・外交
15	判断推理	対応関係	35	世界史	16～18世紀のヨーロッパ
16	空間把握	平面パズル	36	思想	古代ギリシアの思想
17	数的推理	N進法(記数法)	37	地理	東アジア・東南アジア諸国
18	空間把握	折り紙	38	法律	日本国憲法
19	空間把握	図形の個数	39	法律	我が国の司法・裁判制度
20	数的推理	割合	40	社会	我が国の労使関係・労働条件

1.春試験対策

⑤基礎能力試験 得点計画まとめ

科目名	一般知能分野						一般知識分野											解答数合計	
	文章理解		数的処理				自然科学				人文科学				社会科学				情報
	現代文	英文	判断推理	空間把握	数的推理	資料解釈	化学	物理	生物	地学	世界史	日本史	地理	思想	法律	経済	政治		
目標点	7~8/10		7/14				2~3/6											16~17/30	

参考. 例題(2023年国家総合職 No.12 数的処理(判断推理) 正解4)

高度なクイズ? 数学・算数が苦手な人でも問題演習量でカバーできる科目。

【No. 12】 次の記述のうち、論理的に確実にいえるのはどれか。

1. 「商店Aでは、平日に買い物をすると、割引券がもらえる。」が成り立つならば、「商店Aでは、平日の午前中に買い物をすることは、割引券をもらうための必要条件である。」が成り立つ。
2. 「商店Bでは、ポイントカードを持っている人は、会計の際に、5%以上の割引が行われる。」が成り立つならば、「商店Bでは、ポイントカードを持っていない人は、会計の際に、5%未満の割引のみが行われる。」が成り立つ。
3. 「商店Cでは、5月に毎日、米の値引きが行われる。」と「商店Cでは、平日に、パンの値引きが行われる。」が成り立つならば、「商店Cでは、5月の毎週日曜日は、米の値引きは行われるが、パンの値引きは行われない。」が成り立つ。
4. 「商店Dの利用者について、米を購入する者は、味噌を購入する。」と「商店Dの利用者について、醤油を購入する者は、パンを購入せず、かつ、米を購入する。」が成り立つならば、「商店Dの利用者について、味噌を購入しない者は、醤油を購入しない。」が成り立つ。
5. 「商店Bに行ったことがある人は、商店Aに行ったことがある、又は、商店Cに行ったことがない。」が成り立つならば、「商店Aに行ったことがない、又は、商店Cに行ったことがある人は、商店Bに行ったことがない。」が成り立つ。

参考. 例題(2023年国家総合職 No.21数的処理(数的推理) 正解4)

算数の文章題、数学の平面図形が出題される。数学・算数が苦手だと苦労するが、点を拾うことができればよい。ジャンルごとに克服していく。

【No. 21】 静水で速度の同じ2隻の船があり、川の上流にあるA港と下流にあるB港との間を往復している。船は一定速度で運航しているが、川は上流から下流に向けて時速1kmの一定の速度で流れているため、B港からA港に行くのに要する時間は、A港からB港に行くのに要する時間の1.2倍になる。

いま、2隻の船がそれぞれA港とB港を同時に出発し、B港から30km上流の地点ですれ違い、それぞれB港とA港で折り返して、また出発した港に向けて運航を始めた。

このとき、次に、2隻の船がすれ違う地点とB港との間の距離はいくらか。

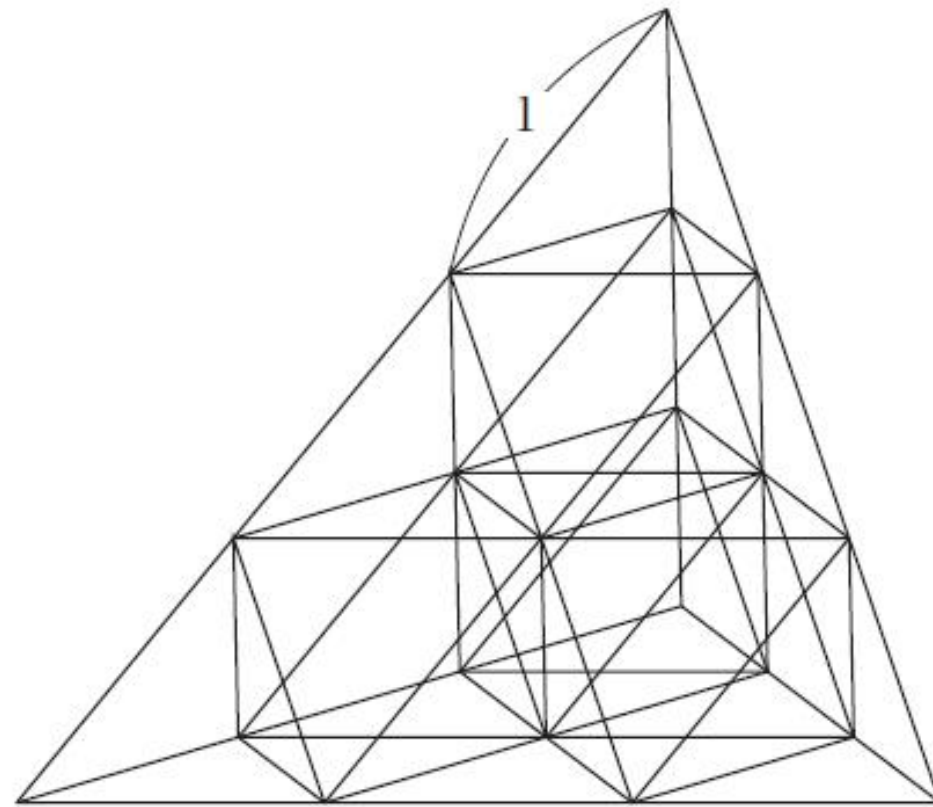
ただし、2隻の船が折り返すのに要した時間は、考えないものとする。

1. 11 km
2. 12 km
3. 30 km
4. 36 km
5. 42 km

参考. 例題(2023年国家総合職 No.19数的処理(空間把握) 正解2)

2023年度は2問出題。例年は出題されても1問～2問。

【No. 19】 長さ1の棒を組み合わせて、一辺の長さが1の正四面体を作り、その正四面体を図のように複数個重ねて、一辺の長さが3の構造物を作った。このとき、この構造物に一辺の長さが1の正三角形はいくつあるか。

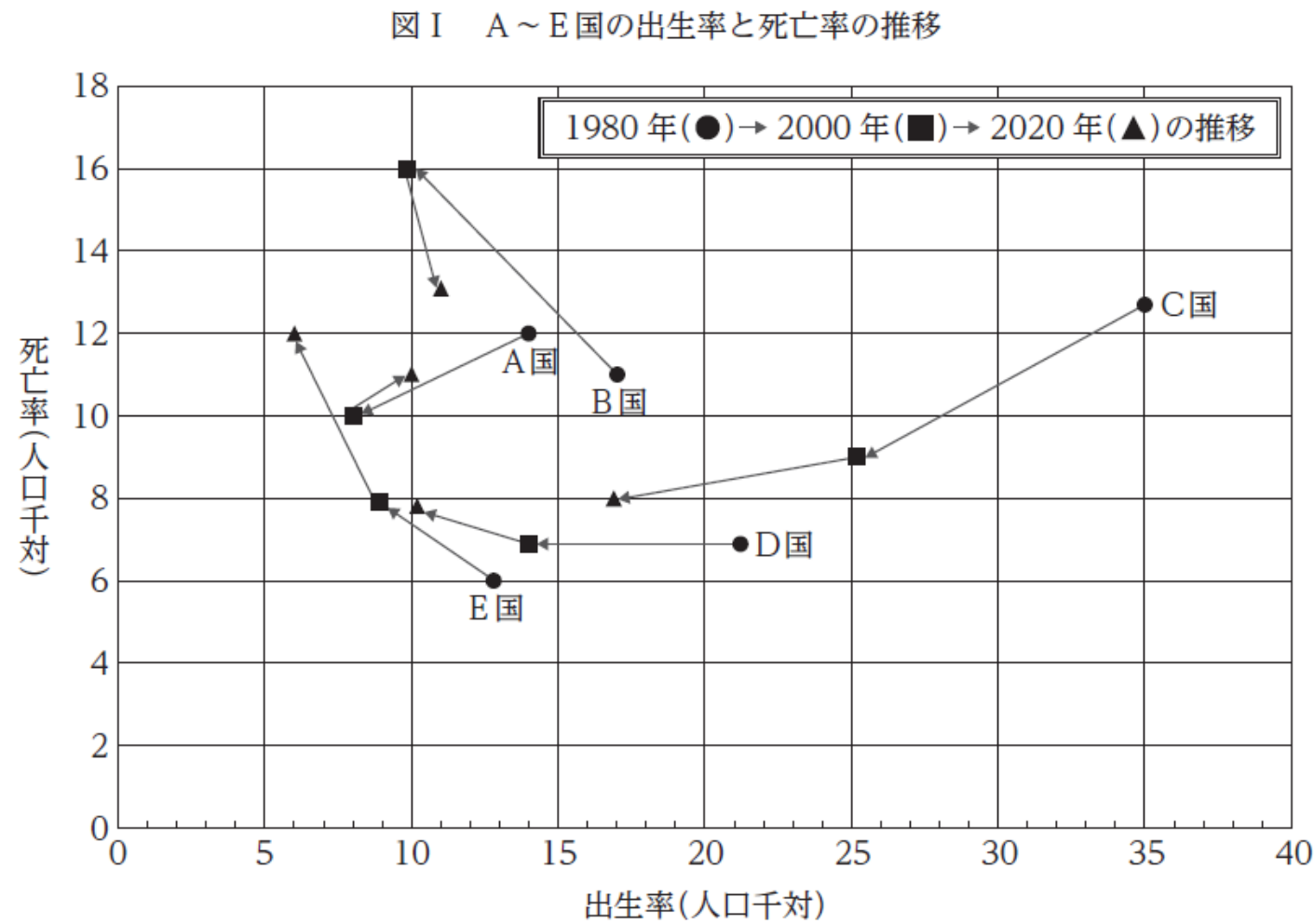


1. 52個
2. 56個
3. 60個
4. 64個
5. 68個

参考. 例題(2023年国家総合職 No.26数的処理(資料解釈) 正解2)

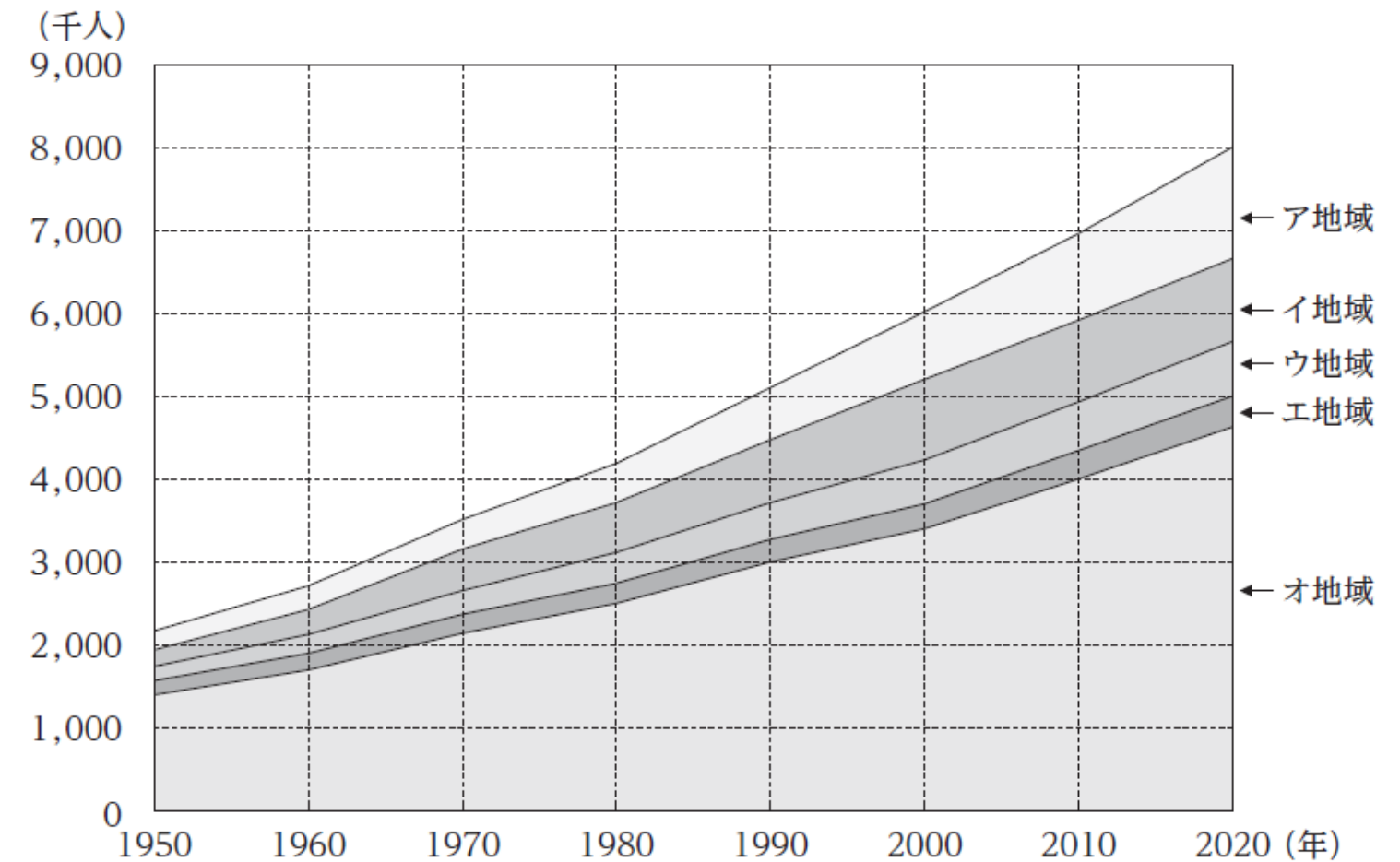
数表・グラフなどの資料を読み取って、簡単な計算をする。数学・算数が苦手な人でも問題演習量でカバーできる科目

【No. 27】 図Ⅰは、A～E国の出生率と死亡率の推移を示したものであり、図Ⅱは、X国の地域別の人口の推移を示したものである。これらから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。
 なお、自然増加率 = 出生率 - 死亡率である。



- 1980年と2000年を比較すると、A～E国のうち、出生率の差の絶対値はC国が最も大きく、また、死亡率の差の絶対値もC国が最も大きい。
- A～E国の1980年の自然増加率と2020年のそれを比較すると、いずれの国も2020年の方が低下しており、また、2020年の自然増加率がマイナスとなっている国も複数ある。

図Ⅱ X国の地域別の人口の推移



- X国の2010年に対する2020年の人口の増加率は、同国の1980年に対する1990年のそれよりも高い。
- X国の人口に占めるイ地域の人口の割合は、2020年に最も高くなっている。
- X国のア～オの各地域における1950年に対する2020年の人口の増加率をみると、オ地域が最も高く、エ地域が最も低い。

参考. 例題(2023年国家総合職 No.30 時事 正解5)

【No. 30】 自然災害や防災などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 日本列島は、プレートの沈み込み帯に位置し、この沈み込み帯はホットスポットと呼ばれ、活火山が多く分布している。太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界に位置する南海トラフには奄美群島の火山があり、その一つの西之島の火山では、2021年に軽石の噴出を伴う大噴火が起こり、太平洋沿岸に大量の軽石が漂着して漁船の運航などに悪影響を及ぼした。
2. 太平洋で発生する熱帯低気圧のうち、気圧が990 hPa未満になったものを台風という。台風の接近に伴い、気象庁が大雨警報を出すことがあり、この場合、災害対策基本法に基づき、都道府県知事は鉄道会社に対して、計画運休の実施を指示することとなっている。2022年に台風は日本に5回上陸し、その度に計画運休などで鉄道の運行が一時休止した。
3. 線状降水帯は、次々と発生する高積雲(羊雲)が連なって集中豪雨が同じ場所でみられる現象で、梅雨前線の停滞に伴って発生する梅雨末期特有の気象現象である。2021年7月、静岡県に線状降水帯が形成されて発生した「熱海土石流」では、避難所に指定された建物が大規模な崖崩れにより崩壊するなどして、避難所の指定の在り方が問題となった。
4. 巨大地震は、海洋プレート内で起こる場合が多い。地震波のエネルギーはマグニチュード(M)で示され、マグニチュードが1大きくなるとそのエネルギーは4倍大きくなる。2022年にM8.0を超える地震は我が国周辺では発生しなかったものの、同年1月に南太平洋のトンガで発生したM8.0を超える地震により、太平洋沿岸などに10m以上の津波が押し寄せた。
5. 我が国において、防災気象情報は、災害の発生の危険度と取るべき避難行動を理解できるように5段階の警戒レベルを用いて伝えられている。2021年に災害対策基本法が改正され、土砂災害などの災害が発生するおそれが高い状況において、市町村から警戒レベル4として発令されていた「避難勧告」と「避難指示(緊急)」の2種類の避難情報が、「避難指示」に一本化された。

2. 春試験対策 専門試験の合格ラインと受験科目の選択法

- ①専門択一試験(1次試験)で最低でも24点~28点を確保する。
 ②専門記述試験(2次試験)で最低でも2次試験受験生の平均レベルを確保する。
 ※記述で採る科目をメイン科目として仕上げることを目標とする。

	法律区分	経済区分	政治・国際・人文区分	
			コースA(政治国際系)	コースB(人文系)
1次試験 必須科目	憲法⑦ 行政法⑫ 民法⑫	経済理論⑯ 財政学・経済政策⑤ 経済事情⑤ 統計学・計量経済学⑤	政治学⑩ 国際関係⑩ 憲法⑤	政治学・国際関係・憲法⑤、 思想・哲学④ 歴史学④、文学・芸術③ 人文地理学・文化人類学② 心理学①、教育学③、 社会学③
1次試験 選択科目	商法③・刑法③ 労働法③・国際法③ 経済学+財政学⑥	経済史・経済事情③ 国際経済学③・経営学③ 憲法③・民法③	行政学⑤・国際事情③ 国際法⑤・行政法⑤ 民法③・経済学③ 財政学③・経済政策③	思想・哲学⑥、歴史学⑥ 文学・芸術⑥ 人文地理学・文化人類学② 心理学③、教育学③ 社会学④
2次試験 専門記述	憲法①、行政法① 民法①、国際法① 公共政策A① or B①	経済理論(必須)① 財政学①、経済政策① 公共政策A ①or B①	政治学①、行政学① 憲法①、国際法① 国際関係 A① & B① 公共政策 A ①& B①	思想・哲学②、歴史学② 文学・芸術②

※○内の数字は出題数。政治国際区分のコースB(人文系)は2024年の試験から実施。

参考. 例題(2023年国家総合職 法律区分No.1(憲法) 正解2)

【No. 1】 外国人の人権に関するア～オの記述のうち、判例に照らし、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

ア. 社会保障上の施策において在留外国人をどのように処遇するかについては、国は、特別の条約の存しない限り、当該外国人の属する国との外交関係等に照らしながら、その政治的判断によりこれを決定することができ、その限られた財源の下で福祉的給付を行うに当たり、自国民を在留外国人より優先的に扱うことも許されるべきことと解され、障害福祉年金の支給対象から在留外国人を除外することは、立法府の裁量の範囲に属する事項と見るべきであり、憲法第25条に違反しない。

イ. 外国人登録法が定める在留外国人を対象とする指紋押なつ制度は、同法の目的を達成するために制定されたもので、その立法目的には十分な合理性があり、かつ、必要性も肯定することができる。また、その具体的な制度内容は、精神的、肉体的に過度の苦痛を伴うものとは異なり、方法としても、一般的に許容される限度を超えない相当なものであったと認められるので、このような指紋押なつ制度を定めた同法の規定は憲法第13条に違反しない。

ウ. 地方公共団体の管理職の職務は広範多岐に及び、公権力を行使することなく、また、公の意思に参画する蓋然性が少なく、地方公共団体の行う統治作用に関わる程度の弱い管理職も存在することから、外国人を任用することが許されない管理職と許される管理職とを区別して任用管理を行う必要がある。このような任用制度を構築することなく、日本国民である職員に限って管理職に昇進することができることとする措置をとることは、合理的な理由を欠き、憲法第14条第1項に違反する。

エ. 台湾住民である旧軍人軍属が戦傷病者戦没者遺族等援護法及び恩給法に定める国籍条項等の規定によりそれらの適用から除外され、日本の国籍を有する旧軍人軍属と台湾住民である旧軍人軍属との間に差別が生じていることは、当該国籍条項等が台湾住民である旧軍人軍属に対する補償問題は日本国政府と中華民国政府の外交交渉による解決が予定されたことに基づいて設けられたと解されること、その後、両国の外交関係の消滅によりその解決が事実上不可能となったことに鑑みると、十分な合理的根拠を欠くものとして、憲法第14条第1項に違反する。

オ. 外国人の在留の許否は国の裁量に委ねられ、我が国に在留する外国人は、憲法上我が国に在留する権利ないし引き続き在留することを要求することができる権利を保障されているものではなく、ただ、出入国管理令上法務大臣がその裁量により更新を適当と認めるに足りる相当の理由があると判断する場合に限り在留期間の更新を受けることができる地位を与えられているにすぎないものであり、したがって、外国人に対する憲法の基本的人権の保障は、このような外国人在留制度の枠内で与えられているにすぎないものと解するのが相当であって、在留の許否を決する国の裁量を拘束するまでの保障が与えられているものと解することはできない。

参考. 例題(2023年国家総合職 経済区分No.1(経済理論) 正解2)

【No. 1】 ある消費者は、所得 I の下、効用が最大となるように X 財と Y 財の消費量を決める。この消費者の効用関数は、以下のように与えられる。

$$u = xy^2 \quad \left(\begin{array}{l} u : \text{効用水準} \\ x : \text{X 財の消費量、} y : \text{Y 財の消費量} \end{array} \right)$$

X 財の価格は 5、Y 財の価格は 10、この消費者の所得 I は 150 であるとする。

政府は、30 の税収を得るために、この消費者に対し、

- (ア) 一括所得税を課す政策
- (イ) Y 財にのみ従量的な物品税を課す政策

のいずれかを検討している。

このとき、(ア)及び(イ)それぞれにおけるこの消費者の効用水準の組合せとして最も妥当なのはどれか。

	(ア)	(イ)
1.	360	490
2.	512	490
3.	512	512
4.	600	512
5.	600	640

参考. 例題(2023年国家総合職 政治・国際区分No.1(政治学) 正解3)

【No. 1】 社会契約に関する次の記述のうち、最も妥当なのはどれか。

1. T. ホッブズは、『君主論』において、人間は自己保存の権利を自然権として持つが、社会契約を結ぶことによって、この自然権は全面的に放棄されると論じた。彼は、それゆえ主権者に対する服従は絶対的であり、戦場で自分の命が危なくなっても逃亡してはならないし、主権者から死刑の宣告を受けたら、その命令を甘受しなければならないと主張した。
2. J. ロックは、名誉革命の勃発をきっかけにして『統治二論』を執筆し、政府が社会契約に違反する場合には、人民は政府を倒す権利を持つと主張して、名誉革命を正当化した。彼は、立法権が執行権に篡奪される場合と、立法府や執行府が人民の信託に違反する場合には、政府の解体に続いて社会が解体して無秩序に陥るため、その場合に人民の抵抗権が認められるとした。
3. J. - J. ルソーの社会契約論は、共同体の設立に際して、各人が等しく、自分の身体と財産を全面的に共同体に譲渡することを求めた。共同体の設立後には、各人は、私的利益とは区別される公共の利益を目指す一般意志に従うことになることとされる。
4. D. ヒュームは、人間を孤立した状態にあるものとして考察する自然状態論を「虚構」とみなし、契約に基づいて政府が樹立されるという社会契約論を否定した。彼は、それゆえ政治の基礎は人々の意見にはないので、政府は文明社会にあっても所有権を尊重したり正義を執行したりする必要はないと主張し、専制や圧政を容認した。
5. 明治政府の成立以降のおよそ半世紀の間の日本には、様々な西洋の政治論が一挙に流入した。中江兆民は、英国への留学から帰国すると、T. ホッブズの著書を漢文に翻訳して『民約訳解』として出版した。彼は、儒学の教養とホッブズの政治思想に基づいて、当時の自由民権運動を批判した。

項目	内容	24/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	6月				
国家総合職本試験	2024年・2025年スケジュール	[秋試験] 教養区分												[春試験] 法律区分								
スタートアップ講義	TACの利用方法および勉強方法のレクチャー	必ず最初に受講してください。																				
教養試験対策	数的処理	講義13回+演習2回+過去問演習2回																				
	文章理解							講義2回														
	自然科学							講義5回														
	人文科学	講義8回																				
	社会科学	講義4回																				
	情報							講義3回														
	時事	講義5回																	講義5回			
専門試験対策	憲法	択一：講義12回+演習2回				記述：講義4回+答練6回																
	民法	択一：講義18回+演習3回				記述：講義4回+答練6回																
	行政法	択一：講義15回+演習3回				記述：講義4回+答練6回																
	国際法	択一：講義12回+演習1回				記述：講義5回+答練3回																
	経済理論（基礎）	択一：講義14回																				
	商法							択一：講義6回+演習1回														
	刑法							択一：講義7回+演習1回														
	労働法							択一：講義5回+演習1回														
	財政学（制度）							択一：講義3回+演習1回														
	公共政策							記述：講義3回+答練2回														
	論文対策	政策論文	講義3回 (総合論文Ⅰ対策)		答練①② (総合論文Ⅰ対策)		答練③④															
直前対策	総まとめ							基礎能力演習		憲法・民法・行政法・国際法												
	公開模試							基礎能力模試		択一模試①		択一模試②		論文模試								
人物対策	面接対策							模擬面接														
	官庁訪問対策							講義1回+模擬面接+自主ゼミ		講義1回+模擬集団討論		官庁訪問質問会 官庁訪問情報交換会										
秋試験 教養区分対策	総合論文Ⅱ	講義2回+ワークショップ1回																				
	企画提案							講義1回+ブレ模擬1回+模擬1回+ゼミ1回														
	政策課題討議							講義1回+ブレ模擬2回+模擬1回														
カウンセリング	担任	毎月実施																				
	内定者										9~3月の期間に毎月実施											
質問	質問コーナー	各区分の担当講師が毎月実施																				
	質問メール	TAC Web School からいつでも質問																				
ホームルーム	様々な試験情報を提供	定期的実施																				
業務説明会	各省庁の担当者を招いた説明会										例年10月実施											
データリサーチ	試験の出来とボーダーラインをチェック										[秋試験] 教養区分		[春試験] 法律区分									
オプション（有料）	ゼミ																官庁訪問対策ゼミ					

[秋・春試験] 実施期間
[秋・春試験] 一次試験対策
[春試験] 一次試験対策
[春試験] 二次試験対策
[秋試験] 一次試験対策
[秋試験] 二次試験対策
[秋・春試験] 官庁訪問対策
[秋・春試験] フォロー制度

1年本科生

国家総合職「教養区分+経済区分」

項目	内容	24/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	6月	
国家総合職本試験	2024年・2025年スケジュール	[秋試験] 教養区分												[春試験] 経済区分					
スタートアップ講義	TACの利用方法および勉強方法のレクチャー	必ず最初に受講してください。																	
教養試験対策	数的処理	講義13回+演習2回+過去問演習2回																	
	文章理解							講義2回											
	自然科学							講義5回											
	人文科学	講義8回																	
	社会科学	講義4回																	
	情報							講義3回											
	時事	講義5回																講義5回	
専門試験対策	経済理論（基礎・応用）	基礎：講義14回+演習2回				応用：講義13回+演習2回				記述：講義4回+答練4回									
	財政学（理論）・経済政策							択一：講義7回+演習1回		記述：講義4回+答練4回									
	財政学（制度）							択一：講義3回		記述：講義4回+答練4回									
	憲法	択一：講義12回+演習2回																	
	民法（経済用）	択一：講義12回																	
	統計学・計量経済学							択一：講義12回+演習1回											
	国際経済学							択一：講義5回											
	経営学							択一：講義6回											
	経済史・経済事情													択一：講義4回					
	公共政策							記述：講義3回+答練2回											
	論文対策	政策論文	講義3回 (総合論文Ⅰ対策)		答練①② (総合論文Ⅰ対策)		答練③④												
	直前対策	総まとめ							基礎能力演習		経済理論・財政学・経済政策		経済理論・財政学・経済政策						
公開模試								基礎能力模試		択一模試①		択一模試②		論文模試					
人物対策	面接対策							模擬面接				講義1回+模擬面接+自主ゼミ							
	官庁訪問対策											講義1回+模擬集団討論		官庁訪問質問会 官庁訪問情報交換会					
秋試験 教養区分対策	総合論文Ⅱ	講義2回+ワークショップ1回																	
	企画提案							講義1回+プレ模擬1回+模擬1回+ゼミ1回											
	政策課題討議							講義1回+プレ模擬2回+模擬1回											
カウンセリング	担任	毎月実施																	
	内定者							9~3月の期間に毎月実施											
質問	質問コーナー	各区分の担当講師が毎月実施																	
	質問メール	TAC Web School からいつでも質問																	
ホームルーム	様々な試験情報を提供	定期的実施																	
業務説明会	各省庁の担当者を招いた説明会							例年10月実施											
データリサーチ	試験の出来とボーダーラインをチェック							[秋試験] 教養区分				[春試験] 経済区分							
オプション（有料）	ゼミ													官庁訪問対策ゼミ					

■ [秋・春試験] 実施期間
 ■ [秋・春試験] 一次試験対策
 ■ [春試験] 一次試験対策
 ■ [春試験] 二次試験対策
■ [秋試験] 一次試験対策
 ■ [秋試験] 二次試験対策
 ■ [秋・春試験] 官庁訪問対策
 ■ [秋・春試験] フォロー制度

1年本科生

国家総合職「教養区分+政治・国際・人文区分」

項目	内容	24/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	6月	
国家総合職本試験	2024年・2025年スケジュール	[秋試験] 教養区分										[春試験] 政治国際区分							
スタートアップ講義	TACの利用方法および勉強方法のレクチャー	必ず最初に受講してください。																	
教養試験対策	数的処理	講義13回+演習2回+過去問演習2回																	
	文章理解											講義2回							
	自然科学											講義5回							
	人文科学					講義8回													
	社会科学					講義4回													
	情報									講義3回									
	時事	講義5回												講義5回					
専門試験対策	政治学					択一：講義13回+演習1回				記述：講義1回+答練3回									
	憲法	択一：講義12回+演習2回				記述：講義4回+答練6回													
	国際法	択一：講義12回+演習1回								記述：講義5回+答練3回									
	国際関係					択一：講義9回+演習1回				記述：講義1回+答練6回									
	行政学					択一：講義9回+演習1回				記述：講義1回+答練3回									
	経済理論（基礎）					択一：講義14回+演習2回													
	民法（政国人用）					択一：講義12回													
	行政法					択一：講義15回+演習3回													
	財政学（理論）・経済政策									択一：講義7回+演習1回									
	財政学（制度）									択一：講義3回									
	国際事情									択一：講義1回									
	公共政策									記述：講義3回+答練2回									
	論文対策	政策論文	講義3回 (総合論文Ⅰ対策)		答練①② (総合論文Ⅰ対策)				答練③④										
直前対策	総まとめ					基礎能力模試		基礎能力演習		憲法・民法・行政法・国際法		憲法・民法・行政法・国際法							
	公開模試							択一模試①		択一模試②		論文模試							
人物対策	面接対策									模擬面接		講義1回+模擬面接+自主ゼミ							
	官庁訪問対策											講義1回+模擬集団討論		官庁訪問質問会 官庁訪問情報交換会					
秋試験 教養区分対策	総合論文Ⅱ					講義2回+ワークショップ1回													
	企画提案									講義1回+プレ模擬1回+模擬1回+ゼミ1回									
	政策課題討議									講義1回+プレ模擬2回+模擬1回									
カウンセリング	担任	毎月実施																	
	内定者										9～3月の期間に毎月実施								
質問	質問コーナー	各区分の担当講師が毎月実施																	
	質問メール	TAC Web School からいつでも質問																	
ホームルーム	様々な試験情報を提供	定期的に実施																	
業務説明会	各省庁の担当者を招いた説明会											例年10月実施							
データリサーチ	試験の出来とボーダーラインをチェック											[秋試験] 教養区分		[春試験] 政治国際区分					
オプション（有料）	ゼミ															官庁訪問対策ゼミ			

[秋・春試験] 実施期間
[秋・春試験] 一次試験対策
[春試験] 一次試験対策
[春試験] 二次試験対策

[秋試験] 一次試験対策
[秋試験] 二次試験対策
[秋・春試験] 官庁訪問対策
[秋・春試験] フォロー制度

3. 春試験対策 政策論文 最近6年間の出題

	テーマ	資料
2023年	行政官として国民との信頼関係を築きながら情報提供を求めるために必要なことは何か	①監視と信頼(英文) ②情報社会における監視の許容度に関する分析 ③日本型システムの行方
2022年	人類が抱える食料問題	①クリーンミート 培養肉 ②国連食糧システムサミット(英文) ③食料供給の不確実性
2021年	男女共同参画	①女性に関するOECDの分析(英文) ②立法過程における女性問題 ③ダイバーシティの概念
2020年	デジタル社会	①EUのデータ保護の規則(英文) ②デジタル経済の特徴 ③個人情報保護の課題
2019年	組織の自律性とコンプライアンス	①法令遵守の自己目的化 ②研究倫理 ③責任投資原則(英文)
2018年	行政官に求められる専門性や役割	①科学的助言の役割(英文) ②AIに関する行政課題 ③専門知と常識知

3. 春試験対策 人事院面接

コンピテンシー面接(行動分析面接)を取り入れている。
面接カードに従って上から順番に質問される。教養区分の人事院面接も同じ。

[これまでに取り組んだ活動や体験] 達成感があったと感じたり、力を入れたりした経験について、どのような状況で(いつ頃、どこで、誰と等)、どのようなことをしたか、簡潔に記入してください。

- ①学業や職務において
- ②社会的活動や学生生活において
- ③日常生活その他(資格、特技、趣味、社会事情など関心のあること等)において

[志望動機] これまでの短所や自分の長所などを踏まえ、国家公務員としてどのような貢献ができるか、具体的に記入してください。

3. TACコンテンツを使った学習スケジュール

㊦ 25年春試験受験の場合(1年本科生の方など)

	法律区分	経済区分	政治・国際・人文区分(コースA)
メイン科目	憲法、民法、行政法と数的処理について秋までにインプットを終わらせる。 問題演習は冬休みまででOK。	経済理論と数的処理について秋までにインプットを終わらせる。 問題演習は冬休みまででOK。 ※財政学・経済政策は講義の進度に合わせてやる。	憲法・政治学・国際関係・数的処理について秋までにインプットを終わらせる。 問題演習は冬休みまででOK。
サブ科目	メイン科目以外は、生講義あるいはWeb講義配信スケジュールに合わせて講義を視聴しインプットしていく。 問題演習は冬休みまででOK。	メイン科目以外は、生講義あるいはWeb講義配信スケジュールに合わせて講義を視聴しインプットしていく。 問題演習は冬休みまででOK。	メイン科目以外は、生講義あるいはWeb講義配信スケジュールに合わせて講義を視聴しインプットしていく。 問題演習は冬休みまででOK。

㊦ 24年実施秋試験、25年実施秋試験、26年春試験受験の場合(2年本科生・3年本科生等ロングコースの方など)

	法律区分	経済区分	政治・国際・人文区分(コースA)
メイン科目	24年9月までに、 数的処理 ⇒ しっかりと(秋試験対策) 専門科目⇒1年目は全体像をつかむだけでもOK	24年9月までに、 数的処理 ⇒ しっかりと(秋試験対策) 専門科目⇒1年目は全体像をつかむだけでもOK	24年9月までに、 数的処理 ⇒ しっかりと(秋試験対策) 専門科目⇒1年目は全体像をつかむだけでもOK

※しっかりと=講義の受講+復習+理解で問題集を解く。

4.秋試験対策

①基礎能力 I (2023年)

番号	科目	出題内容	番号	科目	出題内容
1	文章理解	現代文(内容合致)	13	判断推理	位置関係
2	文章理解	現代文(内容合致)	14	判断推理	操作手順
3	文章理解	現代文(空欄補充)	15	空間把握	平面パズル
4	文章理解	英文(内容合致)	16	空間把握	立体図形
5	文章理解	英文(内容合致)	17	数的推理	重複組合せ
6	文章理解	英文(内容合致)	18	数的推理	年齢算
7	文章理解	英文(内容合致)	19	数的推理	速さ
8	文章理解	英文(文章整序)	20	数的推理	三平方の定理
9	判断推理	発言	21	判断推理	数量推理
10	判断推理	順序	22	判断推理	操作手順
11	判断推理	平面パズル	23	資料解釈	相関図
12	判断推理	操作手順	24	資料解釈	実数

4.秋試験対策

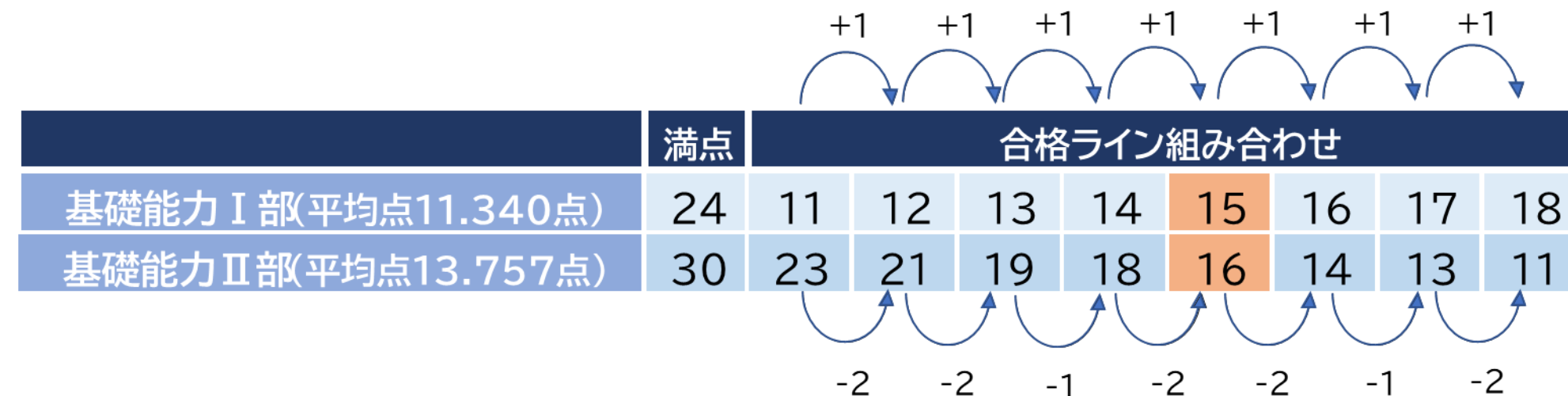
②基礎能力II(2023年)

番号	科目	出題内容	番号	科目	出題内容
1	時事	我が国の電力や環境問題	16	日本史	我が国の文化の歴史
2	時事	我が国の社会を取り巻く状況	17	日本史	鎌倉時代から室町時代まで
3	時事	ロシアによるウクライナ侵攻を含む国際情勢等	18	世界史	冷戦前後のヨーロッパ諸国
4	数学	面積	19	世界史	19世紀以降の世界の諸地域における民族運動等
5	数学	方程式	20	地理	世界の農業
6	物理	重力	21	地理	都市・居住問題
7	物理	波	22	法学	日本国憲法が保障する自由権
8	化学	化学物質	23	法学	内閣と行政
9	化学	酸と塩基	24	政治	我が国の戦後政治史
10	生物	免疫	25	政治	政治体制・経済体制等
11	生物	細胞や遺伝子	26	経済	国内総生産(GDP)
12	地学	火山	27	経済	我が国の中小企業や農業等
13	思想	宗教や宗派	28	経済	金融
14	思想	我が国の思想家	29	思想	西洋近代思想
15	芸術	俳諧	30	社会	高度情報社会

4. 秋試験対策

③2023年教養区分 1次試験 基礎能力試験

科目名	基礎能力試験 I 部						基礎能力試験 II 部												
	文章理解		数的処理				自然科学					人文科学				社会科学			時事
	現代文	英文	判断推理	空間把握	数の推理	資料解釈	数学	物理	化学	生物	地学	世界史	日本史	地理	思想芸術	法律	経済	政治社会	
出題数	8		16				9					9				9			3
内訳	3	5	6	2	6	2	2	2	2	2	1	2	2	2	3	2	3	4	3
合格目標点	7		8				4					5~6				5~6			2



5. 秋試験(教養区分試験) 合格ライン

	1次試験			2次試験		
	基礎能力試験		総合論文	政策課題討議	企画提案	人物試験
	I部	II部				
内 容	前スライド参照		I 政策企画立案の基礎となる教養・哲学的な考え方に関するもの II 具体的な政策課題に関するもの	課題に対するプレゼンテーション力やコミュニケーション力などについての試験	ある課題について政策概要説明紙(プレゼンテーションシート)を作成(1時間30分)、これについてのプレゼンテーションおよび質疑応答を行う	春試験と同じ面接試験
配 点	5/28		8/28	4/28	5/28	6/28
合格ライン	前スライド参照		12点/20点	C評価 =平均的評価	6点/12点	C評価 =平均的評価
備 考	※1次試験の合否は基礎能力試験の得点のみで判定する。		※平均点12.126点 ※1次試験で行われるが、採点は2次試験実施後に行われる。	※A～Eの5段階評価	※平均点5.986点	※A～Eの5段階評価

※各試験の合格ラインに加えて、2次試験においてどれかの試験で1つ上の評価を得れば合格できる。

参考. 例題(2023年教養区分試験 基礎能力 I No.10 正解 4)

【No. 10】 A～Eの5か国には留学制度があり、毎年、5か国の間で、各国は1名ずつ留学生を派遣するとともに1名の留学生を受け入れている。現在、どの国も、派遣先国と受入国は異なる国である。また、来年の派遣先国を決めるに当たり、どの国も、今年の派遣先国及び受入国以外の国を希望したところ、各国が希望した派遣先国は互いに異なっていた。今年の派遣状況と来年の希望状況について次のことが分かっているとき、確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

- A国の今年の派遣先はB国である。
 - A国は来年の派遣先にC国を希望している。
 - E国の今年の派遣先はD国である。
-
1. B国は来年の派遣先にD国を希望している。
 2. C国の今年の派遣先はE国である。
 3. C国は来年の派遣先にB国を希望している。
 4. D国の今年の派遣先はC国である。
 5. E国は来年の派遣先にB国を希望している。

参考. 例題(2023年教養区分試験 基礎能力Ⅱ No.30 正解 5)

【No. 30】 高度情報社会に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. Society5.0は、いつでも、誰でも、どこにいても、様々な情報を受信、発信することができる社会と定義され、工業社会に続く情報社会として提唱されている。Society5.0においては、中央管理者を置いてデータを集約するweb3.0が推進されており、これによって一般の利用者が様々な情報を受信、発信することができる社会の構築が進められている。
2. 情報通信技術の利用における先進国と発展途上国との格差をリープフロッグと呼ぶのに対し、国内における年齢や地域、所得等の違いによる個人間での格差をデジタルデバイドと呼ぶ。デジタルデバイドを解消するための施策の一つとして、高齢者世帯にタブレット端末を配布し、高齢者の安否確認や在宅医療支援等を行うPOSシステムがある。
3. 情報リテラシーとは、情報の取扱いに関して、組織の方針や行動指針がまとめられたものであり、情報の機密性(Confidentiality)、完全性(Integrity)、可用性(Availability)を維持するために規定される。情報化の進展に伴い情報リテラシーの重要性は高まっており、組織の情報リテラシーの国際的な規格がIEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)によって標準化されている。
4. 情報操作とは、SNS等のプラットフォームサービスにおいて、パーソナライズされた自分の好み以外の情報が自動的にはじかれてしまうといった技術的な特性をいう。また、一般の利用者によって発信や拡散が行われた偽情報を含むウェブサイトをダークウェブといい、これらがインターネット上において偽情報を顕在化させる一因となっている。
5. 警察庁によると、我が国のサイバー犯罪の検挙件数は平成15年以降増加傾向にあり、令和3年には、ランサムウェアによる被害が拡大したことが確認されている。ランサムウェアとは、感染すると端末等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号する対価として金銭等を要求する不正プログラムをいう。

参考. 教養区分試験 総合論文Ⅰ、Ⅱ 例題(2023年本試験問題)

総合論文Ⅰ

政策の形成に当たっては、多様な関係者に対して、政策の内容、そのねらい、期待される効果などを説明することが必要になる。以下の資料は、「説明」とはいかなることかについて述べたものである。資料1～3のそれぞれの「説明」の仕方を簡潔にまとめた上で、政策の形成に際して、どのような関係者に、どのようなことを「説明」する場合に、それぞれの「説明」の仕方が有効だと考えられるか、あなたの考えを論じなさい。

(問題とは別に資料が3つ。資料1は英文, 資料2と資料3は日本文)

総合論文Ⅱ

我が国の文化財保護について、その意義を以下の資料の内容も踏まえつつ明らかにしなさい。また、文化財保護に係る課題を複数挙げた上で、それら課題への対応策を具体的に論じなさい。

(問題とは別に資料として「文化財保護法」第1条～第4条まで掲載)

5. 秋試験(教養区分試験) 2次試験科目学習法

総合論文

政策論文講義で学習
↓
答練(予想問題)で演習
↓
添削をもとにやり直す
(添削は何度でもOK!)

政策課題討議

総合論文ワークショップで
グループワーク
↓
模擬政策課題討議
※ベテラン講師、元官僚講師
による個別指導

企画提案

指定の白書をもとにした予想問題
↓
模擬企画提案
※ベテラン講師、元官僚講師
による個別指導

人物試験

個別カウンセリング
↓
面接カード作成・添削
↓
模擬面接
※ベテラン講師、元官僚講師
による個別指導



官庁訪問

<開始>

最終合格発表日（2023年は6/8（木））4日後の6/12（月）午前8:30から

<期間>

第1・第2クール（6日間）⇒ 同一省庁への訪問は3日に1回（訪問日の翌日・翌々日は訪問不可）

第3クール（2日間）⇒ 同一省庁への訪問は2日に1回（翌日の訪問不可）

第4クール（1日間）

月日	6/12(月)	6/13(火)	6/14(水)	6/15(木)	6/16(金)	6/19(月)	6/20(火)	6/21(水)	6/22(木)
	第1クール			第2クール			第3クール		第4クール
A	外務	×	×	外務	×	×	外務	×	外務
B	×	防衛	×	×	防衛	×	×	防衛	×
C	×	×	経産	×	×	経産	×	×	×

※6/22（木）17:00以降に内々定解禁 ⇔ 事実上の内々定はそれ以前に暗示されてはいる

<何をするか>

原課（具体的な政策を作るところ）、人事課を含め様々な人と面接（面談）をして、その省庁のカラーに合っているか判断される。この官庁訪問をクリアしないと就職できない。

➤官庁訪問の倍率は、2.5倍程度（人気省庁の場合、高倍率）

早わかり！TAC・Wセミナーの活用法

スタートアップ講義

各講義

マイページの
「講座からのお知らせ」
新宿・早稲田校の掲示板で
最新情報をチェック！

学習内容などの質問
があるとき

講師への質問

対面授業の
前後に聞こう

質問メール
で聞こう

講師に相談があるとき

カウンセリング
質問コーナー

亀津講師
法律系

山本講師
政治系
政策論文

溝江講師
経済系

TACからのご案内

① 公務員講座のコースや受講に関するご相談は

TAC・Wセミナー公務員講座

 **0120-555-962** (受付時間/土日祝を除く12:00~18:00)

② 2023年度国家総合職内定者に相談したいという方は

こちらからご予約を (2024年3月まで) ▶▶▶



③ 各種資料のご請求・お問い合わせは

TACカスタマーセンター

 **0120-509-117** (受付時間/平日・土日祝 10:00~17:00)

X(Twitter)フォロー、YouTubeチャンネル登録お願いします！



X(旧Twitter)

@TAC_kokugai



TAC国家総合職／外交官（外務専門職）

@TAC_kokugai

受験に役立つ時事やインターンシップ、業務説明会の情報を中心に投稿。さまざま省庁の情報をタイムリーにお届け。



YouTube

@tac7973



TAC公務員講座

@tac7973 チャンネル登録者数 1210人 281本の動画

公務員になりたい人、ちょっとでも興味のある人、集まれ～！

国家総合職、外務省専門職をはじめ公務員試験に関する動画、ライブ配信を行っています。